

第7回検討会にあたっての意見

令和元年 12 月 19 日
一般社団法人 日本食品添加物協会
上田 要一

論点5「食品添加物表示の普及、啓発、消費者教育について」につき意見を提出します。

1. 食品添加物の安全性に対して漠然とした不安を持っている消費者の方は多いと考えられます。食品添加物のリスク評価やリスク管理の仕組みについての理解促進に向け、消費者庁が中心となって関係省庁の連携のもとに枠組みをつくり、消費者の方々に対するリスクコミュニケーションの取り組みを強化すべきと考えます。
2. 第4回検討会での論議で指摘されたように、食品添加物についての普及・啓発には、学校教育が重要だと考えます。家庭分野での授業、学校給食、食育等を通じて食品添加物の役割、リスク管理の仕組み等について正確な普及・啓発が進むよう、消費者庁が中心となって文部科学省を含めた関係省庁の連携のもとに、学校教育における普及・啓発に取り組むことが必要と考えます。
3. 「学校給食衛生管理基準」の見直しに向け、消費者庁より文部科学省に申し入れるべきと考えます。

以上